



室田一雄教授 井上學術賞受賞記念講演会

平成 16 年度井上學術賞の受賞者に、情報理工学系研究科数理情報学専攻の室田一雄教授が選ばれました。井上學術賞は自然科学の基礎的研究で特に顕著な績をあげた 50 歳未満の研究者に与えられる賞であり、室田一雄教授は、「離散凸解析の理論」の構築という、その独創的な業績が高く評価された結果、今回の受賞となりました。

これを記念して、COE 超ロバスト計算原理プロジェクトでは、次のとおり記念講演会を行います。講師の室田先生には「超」やさしくお話しいただくようお願いしてあります。どうぞ奮ってご参加ください。

- 日時** 平成 17 年 4 月 8 日 (金) 16:00 ~ 17:00
- 場所** 工学部 6 号館 3 階 セミナー室 A,D
- テーマ** 離散最適化を見る数理の眼
- 講演者** 室田 一雄 (数理情報学専攻、教授)
- 概要** 近年、日本を中心に進展した「離散凸解析」とはどんな学問なのか、その動機と問題意識を平易に紹介します。たとえば、「離散凸解析」の視点に立つと、
- (1) 非線形抵抗から成る電気回路における電流と電位の関係、
 - (2) ポテンシャル問題における微分作用素と Green 関数の関係、
 - (3) 数理経済学においては財と価格の関係
- がみんな同じだと気付きます。
- <http://www.misojiro.t.u-tokyo.ac.jp/~murota/kenkyushokai.html>